

われら小千谷市消防団

No. 33

団報 火の見やぐら

火事と救急は119番

発行 小千谷市消防団本部（広報部）

2018年10月号



ポンプ操法県大会事前練習（胎内市会場にて）

平成30年4月から平成30年9月まで主な活動内容

4月・春の火災予防週間

- ・一日消防署長
- ・辞令交付式・幹部、新入団員規律訓練
- ・一人暮らし高齢者宅への防火訪問
- ・ポンプ操法小千谷市内大会
- ・信濃川河岸段丘ウォーク参加

5月・観桜会・消防庁長官定例表彰祝賀会

- ・北魚沼地区支会訓練会

・水防訓練

6月・北魚沼地区支会ポンプ操法競技会

7月・新潟県消防大会ポンプ操法競技会

8月・おぢやまつり参加

- ・五市一町女性消防団員交流会

9月・片貝まつり特別警戒

- ・小千谷市総合防災訓練（次回号）

消防長就任の挨拶



本年4月1日付で消防本部消防長を拝命いたしました渡邊秀樹と申します。

消防団員の皆様には、日頃より消防団活動にご尽力いただき厚く感謝申し上げます。

昨年の当消防本部管内の火災件数は11件で（うち小千谷市は9件）、いずれも過去50年を遡っても最少件数となりました。今年においては、9月末現在、管内11件（市内10件）で昨年とほぼ同数で推移しております。全国、新潟県内においても火災は減少傾向に

あると言えますが、今年に入り自然災害は、4月に大分県中津市の土砂災害、6月の大阪府北部地震、6月末から7月上旬に掛けて梅雨前線の影響による西日本豪雨災害、9月6日の北海道胆振東部地震、また幾度となく発生した台風、更に今年の猛暑は気象庁において災害と認定されるなど、自然の猛威は全国各地、いつ何処に牙をむくのか分かりません。このような自然の力に対しては、多くの人力に頼るしかなく、市民の消防団への期待はますます高まっていると感じます。

一方、消防団員数は、小千谷市の人口の減少、高齢化の進展、社会環境の変化も影響して、9月末現在、総数673人と定数750人を大きく下回る状況であります。団員の装備の充実、処遇の改善を進める中で、団員確保に繋げたいと考えてはおりますが、さらなる検討も重ねて参ります。

今後とも市民と地域の安全・安心にご尽力いただきますようお願いをし、新任消防長の挨拶とさせていただきます。

春の火災予防週間

春の火災予防運動が4月1日(日)から7日(土)の期間で行われました。今年度の全国統一防火標語は『火の用心 ことばを形に 習慣に』です。連日各分団による防火広報が行なわれた他、4月4日には一日消防署長が行なわれました。

標語と合わせ掲げられている「住宅防火 いのちを守る 7つのポイント」の中で、逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する、という項目があります。住宅用火災警報器は設置が義務付けられているのは皆さんご存知と思います。ただ、正常に作動しないのでは意味がありません。定期的な点検・確認を行い、周囲にも促しましょう。また、経年劣化により警報器本体の故障も起こりえます。目度として、設置から10年以上経過しているものは本体の交換が薦められています。

一日消防署長

4月4日(水)平成30年春の火災予防運動期間中の行事として「一日消防署長」が行われました。女性消防団員からは、南雲副分団長、横田団員が参加し、一日消防署長を東山小学校六年生の片岡さんと曾根さんが勤めました。



はじめに、渡邊消防長から辞令を受け、訓練礼式の点検者を行いました。少々緊張気味の2人でしたが、消防車両や無線機器の点検では目を輝かせていました。

今回の防火査察はイオン小千谷店で行いました。防火扉、消火器、消火栓の説明を受け、バックヤードで防災システムの見学をしました。

その後、イオン小千谷店の駐車場で一日消防署長の号令により放水展示が行われました。そして、イオン小千谷店内にて渡邊消防長と女性消防団が防火PRを行いました。

消防署に戻り、梯子車等の見学を予定していましたが、緊急出動が重なり、実際の出動を見た片岡さんと曾根さん、付き添いの先生は驚いていました。

半日の消防署長ではありましたが、辞令を受けた時の顔とくらべ、「一日消防署長」を終えた後では、2人共たくましい顔になっていました。



ひとり暮らし高齢者宅防火訪問

4月19日(木)午後と20日(金)午前、ひとり暮らし高齢者宅防火訪問が行なわれました。今回は西小千谷方面を、19日は土田班長が、20日には南雲副分団長が参加し、訪問先の高齢者に防火指導を行いました。

辞令交付式並び幹部・女性部及び新入団員訓練

4月8日(日)、消防本部3階講堂に於いて、幹部団員と新入団員への辞令交付式が行なわれました。

富井団長より辞令が各団員へ手渡された後、第1分団の鳥山英樹さんが代表し宣誓書を読み上げました。新入団員の皆さんの活躍を期待するとともに、幹部の皆さんは団員を支えながら宜しく指導をお願いいたします。

新入団員は、その後に座学と消防器具の取り扱い、規律訓練を受けました。今年は実際に放水を行い、その重さなどを初めて実感でき、貴重な体験となったことと思います。



また、同時に幹部と女性部の規律訓練が行なわれました。小隊編成などは普段あまり行う機会も無く、初めは戸惑うことと思います。この機会にしっかりイメージをつかんで、その後の訓練等に繋げてほしいと思います。



辞令交付式に先立ち、消防団互助会役員会が行われました。
互助会には福利厚生の一環として、消防団活性化事業費などが計上されています。分団と部と、別個に用意されていますが申請は一緒でも良いです。団員のための予算ですので有効利用いたしましょう。

ポンプ操法小千谷大会

4月24日(火)午後7時30分より、白山運動公園第2駐車場に於いてポンプ操法の小千谷大会が行なわれました。

今年は全国へつながっている年であり、まずは県大会への出場、地区支会大会突破に向けて参加チームの技術向上を目的とする開催でした。



あいにくの雨模様の中、大会形式で小型ポンプ操法を、後に第7分団がポンプ車操法を行いました。小型に関しては事前に地区支会大会の出場枠が増したため、ポンプの選択権をかけたの戦いとなり、第8分団が1位を獲得。次いで第1分団、第4分団という結果となりました。

信濃川河岸段丘ウォーク参加

4月29日(日)、第31回信濃川河岸段丘ウォークに参加し、防火ウォークを行いました。ちょっと暑い気もしましたが好天に恵まれ、多くの一般参加者とともに12キロコースを歩きました。

当日は、女性部の南雲副分団長、石田部長、村田団員の3名の他、団本部から大橋副団長、水内副団長、渡部分団長、佐藤副分団長の4名が参加しました。



山本山休憩場所のおじゃーるでは、防火を呼びかけながら、花の種の配布が女性部によって行なわれました。種をもらった皆さん、結構喜んでおられました。

今年も無事にみんなで完歩！来年はもう少し参加人数が増えるといいですね。

観桜会・消防庁長官定例表彰祝賀会

5月1日(火)、グリーンパークを会場に幹部の観桜会とあわせて、消防庁長官定例表彰祝賀会が行なわれました。今年は横田分団長、郷特別消防団員(元第2分団長)の2名が表彰を受けられました。永年に及ぶ活躍、本当にご苦労様です。



平成30年度北魚沼地区支会訓練会

5月13日(日)、北魚沼地区支会訓練会が行なわれました。白山運動公園第2駐車場ではポンプ操法訓練会と初級幹部訓練、グリーンヒル白山ではラッパ隊訓練、小千谷市消防本部においては機関員講習会が行なわれました。

機関員講習会では、川口出張所の中村士長が講師を務められ、団本部からは大橋副団長、渡部分団長が支会担当として参加しました。



ポンプ操法訓練は、支会担当として久賀訓練部長以下、本団訓練部が参加し、県審査員

を務める樋口司令補を講師に、審査を務める職員さんの実技を交えながら指導をいただきました。



初級幹部訓練は、始めにグリーンヒル白山にて、魚沼市消防本部の山之内次長による「現場指揮・安全管理」の座学が行なわれ、終了後に駐車場へ移動しました。駐車場では規律訓練が実施され、伊佐第3分団長が中隊長担当となり、元気に号令をかけました。なお、魚沼市消防団からは女性3名が参加されていたので、来年は小千谷も検討…？



ラッパ隊は和田ラッパ隊長が講師となり行なわれました。ラッパ隊は毎月定例の訓練も行っており、その成果は操法地区支会大会でも発揮されていました。

平成30年度大河津・長岡・越路地区合同水防訓練

5月20日(日)長岡市信濃川右岸河川敷で水防訓練が行われ、小千谷市から第3分団、第4分団が参加しました。

前半の基本訓練では、土のう作りと縄結びの訓練を行いました。各隊により作業スピードの差があり、事前訓練の重要性を感じました。



基本訓練後、平澤東部方面隊長の指揮で第3分団が、改良積土のう工。渡部北部方面隊長の指揮で第4分団が、T型マット工を実施しました。

改良積土のう工では、前日の雨で水を吸った重いドロだらけの土のうの取扱いや、T型マット工ではT型マットシートの破損箇所を直しながらの工法でありましたが、両分団とも力を合わせ水防訓練を無事終了しました。



第3分団、第4分団の臨機応変な行動は日頃の訓練の成果であると感じました。

片貝防災ウォークでポンプ操法を披露

6月3日(日)、片貝町に於いて片貝町防災・健康ウォークが行なわれ、第8分団による小型ポンプ操法の展示が行なわれました。

小学校のグラウンドで、周囲を埋め尽くす大観衆(!?)の前での披露は、大会とは違った雰囲気ですね。次世代を担う子供達への良いアピールにもなるかと思えます。ぜひ他の分団も行ってみたいはいかがでしょうか？



市内小学校PTA普通救命講習会

6月9日(土)、10日(日)の2日間にわたって、消防本部3階講堂に於いて、市内小学校PTA普通救命講習会が行われました。

9日は大淵分団長が、10日は石田部長が、職員さんと共に指導を行いました。

第54回北魚沼地区支会ポンプ操法競技会

6月17日(日)、北魚沼地区支会ポンプ操法競技会が白山運動公園第2駐車場にて開催されました。

ポンプ車操法には第7分団が、小型ポンプ操法には第1分団、第4分団、第8分団が出場しました。

今年は全国大会へつながる年であり、まずは支会大会突破との意気込みで冬から長きにわたり練習を重ねてまいりました。その甲斐もあり、両部門で見事優勝、第8分団が県大会への切符を手に入れました。



ポンプ車操法の部

優勝

第7分団



小型ポンプ操法の部

優勝

第8分団



小型ポンプ操法の部

3位

第4分団





小型ポンプ操法の部

4位

第1分団



北魚沼地区支会ポンプ操法競技大会成績

【ポンプ車の部】

順位	出場隊名	総合得点	出場順
1	小千谷市消防団 第7分団	130.00	1
2	魚沼市消防団 第6分団第2部	78.75	2

【小型ポンプの部】

順位	出場隊名	総合得点	出場順
1	小千谷市消防団 第8分団	84.00	1
2	魚沼市消防団 第2方面隊	74.75	3
3	小千谷市消防団 第4分団	63.75	2
4	小千谷市消防団 第1分団	59.25	5
5	魚沼市消防団 第4分団第1部	56.75	6
6	魚沼市消防団 第10分団	55.75	4

長期にわたり訓練を重ねた選手並びにそれを支えて下さった団の皆さん、本当にお疲れ様でした。

第2分団新型ポンプ車お披露目式

7月1日(日)、第2分団第1部の新型ポンプ車のお披露目会が行われました。

はじめに、土川やすらぎ公園で、団員紹介と新型ポンプ車両の説明を行ない、茶郷川から吸水して、放水訓練を実施しました。



消防団による放水訓練の後、住民の方々に放水体験をしていただき、新型ポンプ車両に触れる機会を設けました。住民が実際に放水体験をすることで、火災に対する意識が高まり、消防団活動を理解していただく、良いお披露目会

となりました。

祝賀会では、消防団OBの方々と今まで住民の安全を守ってきてくれたポンプ車の思い出話に花が咲きました。

今回、地元消防団員が自作したチラシも、時代に合ったチラシで良かったです。



平成30年度北魚沼地区支会役員・幹部研修

7月14日(土)、北魚沼地区支会役員・幹部研修が行なわれました。

今回の視察は、関越トンネルの非常用トンネルを新潟県側から群馬県側に抜けながら、自動換気装置、谷川岳の天然水の源流や、交通管理システムを見学しました。



第69回新潟県消防大会ポンプ操法競技会

7月29日(日)、胎内市総合体育館駐車場で新潟県消防大会が開催され、小型ポンプの部に、北魚沼地区支会代表として第8分団が出場しました。

参加チームは小型ポンプの部に18チーム、ポンプ車操法の部に9チームが出場し、この日、県内は今年一番の暑さを記録し、まさに熱戦が繰り広げられました。

会場には大塚市長も激励に訪れるなど、多くの声援が選手に送られる中、奮起した結果、参加チーム2番目のタイムを記録するも、順位は15位と残念な成績に終わりました。

しかし、長期間に及ぶ訓練と団結力は決して無駄ではないと思いますし、この経験で得たことをこの先に繋げていってもらえればと思います。本当に選手並びに第8分団の皆さん、お疲れさまでした。



久賀訓練部長のコメント

県大会に出場の第8分団には、昨年の冬場より全国大会を目指し訓練に励んでいただきましたが、残念ながら思いどおりの結果にはなりませんでしたが、この経験は選手、第8分団にとって意義あるものと思います。これからの消防活動に活かしていただきたいです。よろしくお願いします。

吉原第8分団長コメント

県大会では、思う成績に届きませんでしたが、誇らしい操法でした。今後は、後輩のポンプ操法の指導を、お願いします。長い期間のポンプ操法訓練、大変お疲れ様でした。



平成30年度五市一町女性消防団員交流会

8月25日(土)、見附市役所に於いて五市一町女性消防団員交流会が行なわれ、水内副団長、女性部石田部長と横田団員が参加しました。今回は横田団員よりレポートをいただきました。



「2度の水害における見附市の対策と風水害対策のあり方」という題で見附市長久住時男様より講演がありました。

遊水地や田んぼダム、堤防の嵩上げ、貯留管、排水ポンプ設置などの対策により、前回の1.5倍の雨量にもかかわらず水害は減少したそうです。その他、情報の発信、避難誘導のための対策、防災訓練の実施、小中学校を対象とした防災スクールの取り組みなど行っているそうです。

今回の研修に参加して地域の細かい所に目の届く消防団員になりたいと思いました。

おぢやまつり参加

8月26日(日)、おぢやまつり、本町おまつり広場で、女性消防団から水消火器取り扱い指導、消防署職員指導の下、起震車の地震体験を行いました。

女性部から、大淵分団長、南雲副分団長、川上班長、横田団員が参加しました。

水消火器は水鉄砲の仕組みとなっており、圧力をかけたばかりの水はとても勢いが強く、訓練用の的を越えて見学していた家族や広報の所まで飛んでました。

地震体験コーナーでは、今までの地震のデータを参考にした揺れを体験してもらいました。体験者はテーブルにしがみつくのがや



つとのようでした。

防災体験をした方から、「地震が怖かった。」「消火器が楽しかった。」などの意見を多く聞くことができました。約3時間でたくさんの人と触れ合っていたいただき、消防団活動の良い宣伝の場となりました。今回、経験していただいた事を災害発生時に思い出して安全に避難、行動していただければ幸いです。



片貝まつり花火大会特別警戒

片貝まつり花火大会に係る特別警戒が9月9日(日)、10日(月)、地元消防団と団本部、女性部が会場および周辺の警戒に当たりました。

編集後記

今回の団報で、女性消防団員の新しいTシャツがデビューしたのをお気付きですか?小千谷市消防団をアピールするために、女性部がアイデアを出して作成しました。

消防団員は消火活動だけでなく、多くの面で活躍をしています。そんな仲間の姿を団報の中にも取り込み、小千谷市消防団のPRを行っていきたいと思います。アクティブ広報部員が取材に行きますのでよろしくお願いします。

団報 火の見やぐら No. 33

発行 小千谷市消防団本部
事務局 小千谷市消防本部総務課内
住所 小千谷市城内3丁目1番9号
TEL 0258-83-0236
FAX 0258-82-0209

Eメール syobou-soumu@city.ojiya.niigata.jp